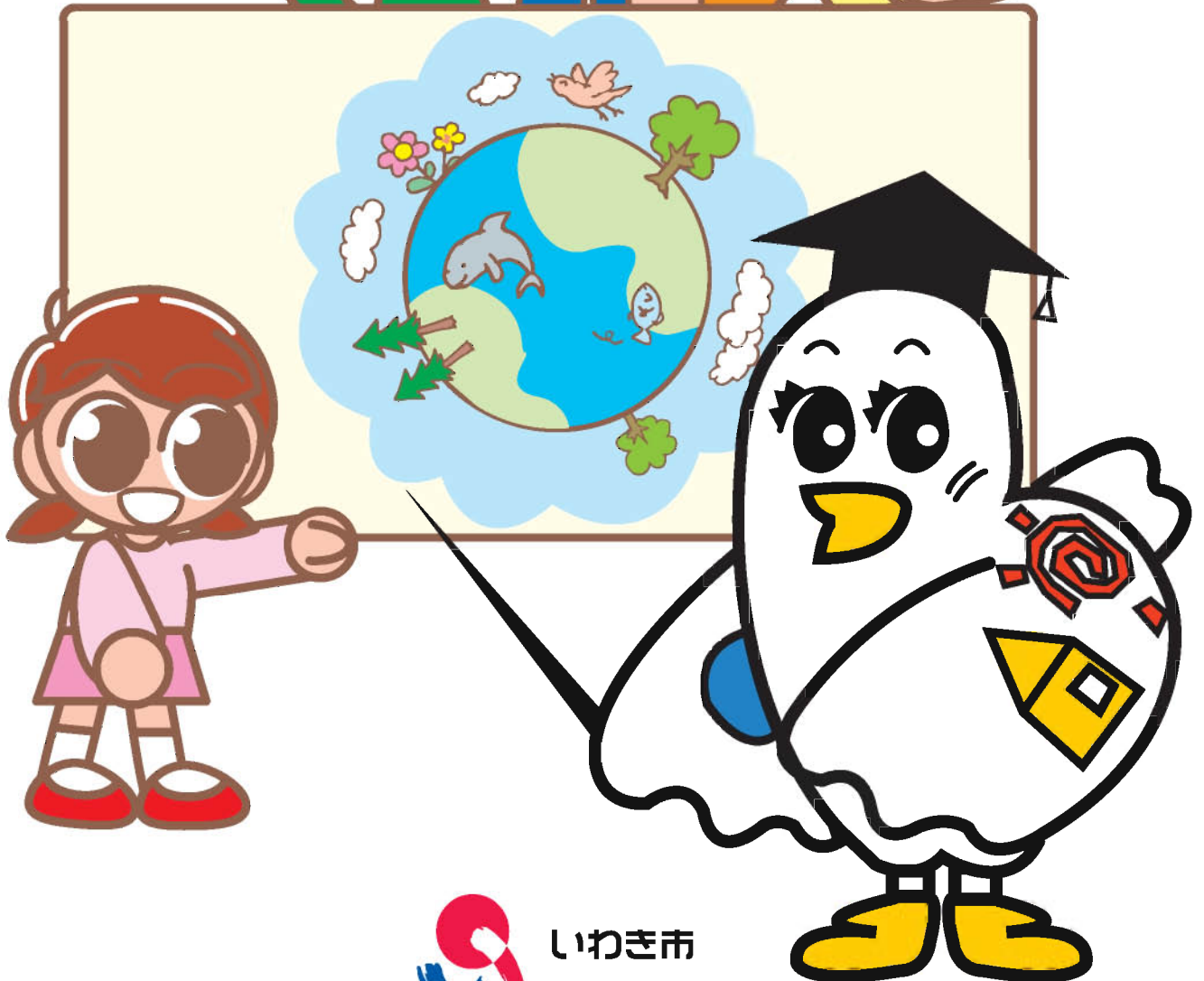


リサイクルいわき

小さな減量、みんなでやれば大きな減量!!



いわき市

ごみとその処理費用

■いわき市のごみ処理量

いわき市のごみの量は、平成20年度に約13万7千トンでした。10年前と比べると、約8千トン減っていますが、まだまだ減らしていく必要があります。

1年間（平成20年度）
13万7千トン

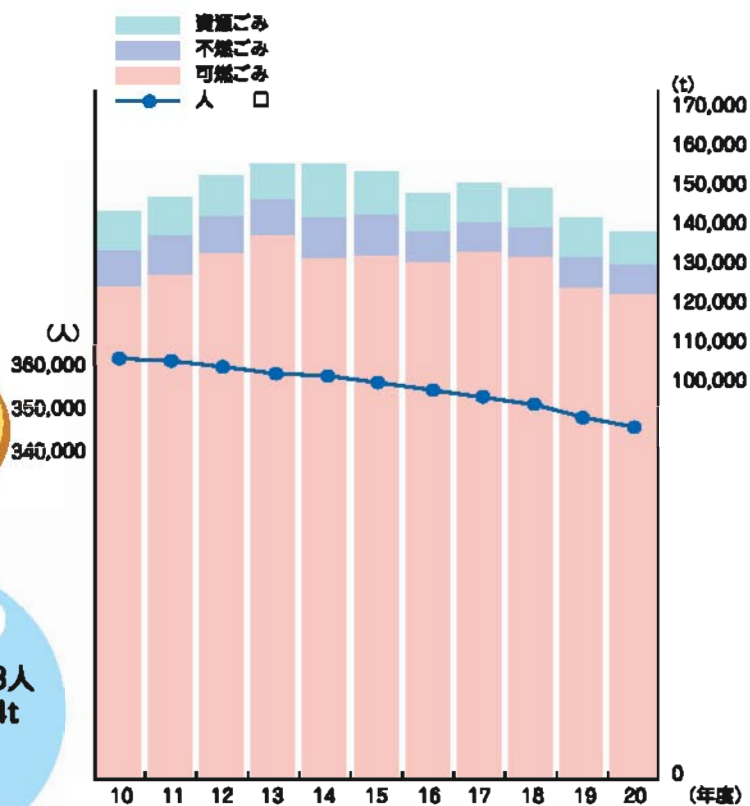


1日平均
377トンのごみが出ていますよ。

20年度

人口：347,803人
可燃：123,334t
不燃：4,261t
資源：9,527t

●いわき市のごみ処理量(人口の伸びとの比較)



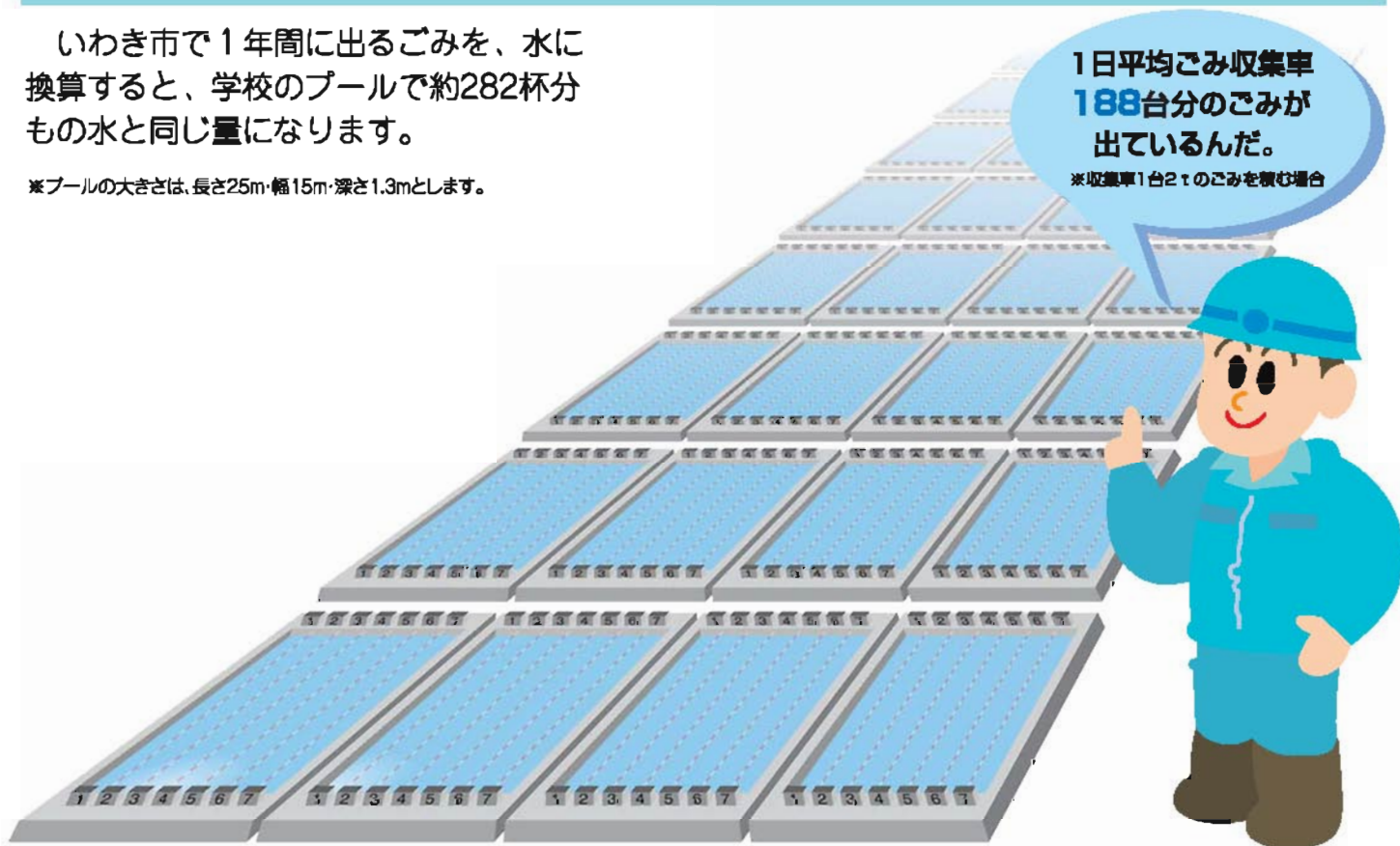
■いわき市の1年間のごみ

いわき市で1年間に出るごみを、水に換算すると、学校のプールで約282杯分もの水と同じ量になります。

※プールの大きさは、長さ25m・幅15m・深さ1.3mとします。

1日平均ごみ収集車
188台分のごみが出ていますよ。

※収集車1台2tのごみを積む場合



■ 1人が1日に出すごみの量

いわき市民1人が1日に出すごみの量は、1,083g。10年前に比べておよそ1.9%減少しました。しかし、依然としてごみの量は多く、市では、平成22年度までに、これを950gに減らすことを目標にしています。

平成10年度 **1,104 g**

平成20年度 **1,083 g**

平成22年度までに… **950 g**



■ ごみの分別の種類

いわき市のごみの分別は次のとおりです。



■ ごみ処理にかかる費用

ごみを適正に処理するには、多くの労力と費用がかかります。もちろん、この費用に充てられるのは、わたしたちの税金です。平成19年度のごみ処理にかかった費用は**48億8,024万円**。年間1世帯3人分では、**42,060円**かかることとなります。また、ごみ袋1個（約8Kg）処理するには**277円**がかかります。

■ ごみを減らせばこんなにいいことが…

① ごみ処理にかかる費用が減る



ごみの処理は皆さんが納める税金でほとんどをまかっています。ごみの量が減れば、処理に必要な費用も減り、税金をより有効に活用することができます。

② 埋立処分地を長く使える



埋立処分地は、なくてはならない施設ですが、どんなに広い処分地にも限りがあります。ごみを減らすことで、今ある施設を長く使うことができます。

③ 貴重な資源を無駄なく使える



ごみの中には、資源として再利用できるものがたくさんあります。資源の大半を外国からの輸入に頼る日本にとって、ごみを減らすことで、貴重な資源を無駄なく使うことができます。

■ 循環型社会に向けて ～ごみ減量みんなで進める3つのR～

■ 循環型社会のキーワードは3R

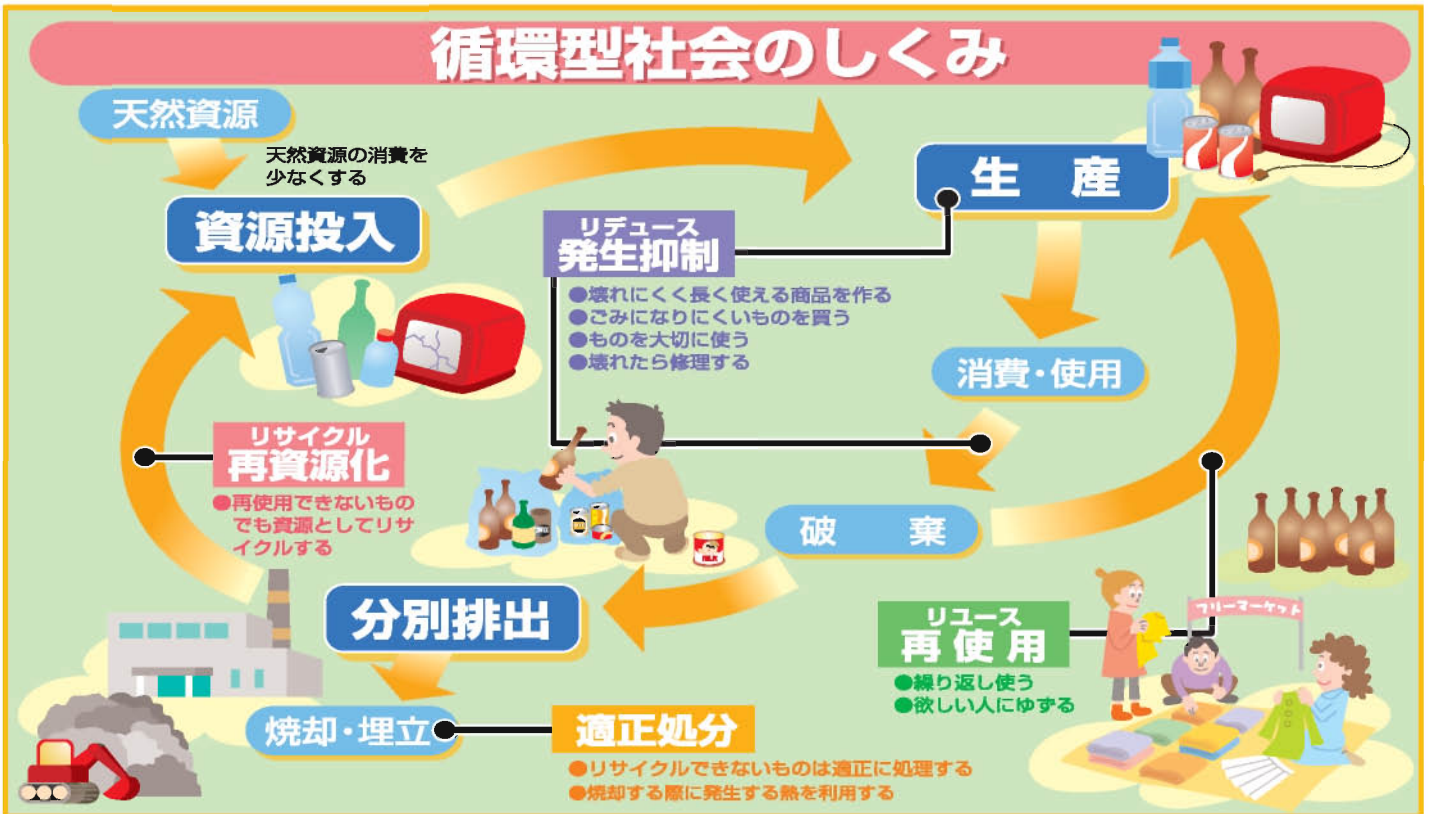
私たちは、便利で豊かな生活をするために、地球上のあらゆる資源を消費し、その一方で膨大な量のごみを生み出しています。

しかし、資源には限りがあり、資源の消費は地球環境の悪化にもつながります。

将来の世代に美しい地球環境を残すためには、ごみそのものの発生を抑えたり、再利用してごみとして処分するものをできるだけ少なくすることで、資源の消費を抑える必要があります。

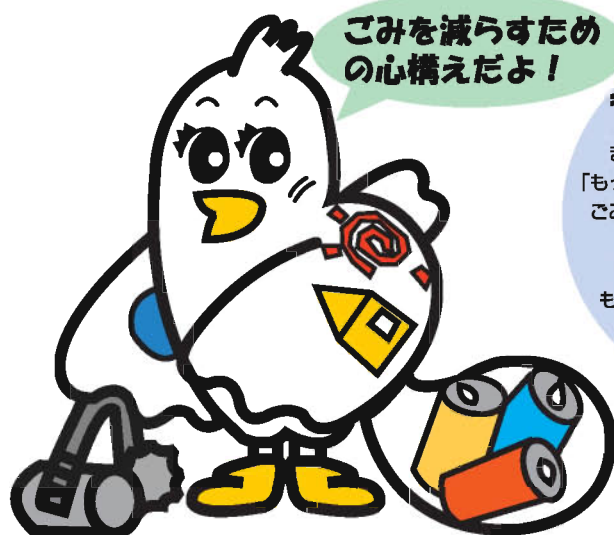
このように物が循環し、資源の消費を抑え、環境への負荷をできるだけ少なくする社会を、「循環型社会」といいます。

循環型社会をつくるためには、一人一人が3Rを理解し、取り組む必要があります。



■ 循環型社会へ向けた心構え

循環型社会をつくるためには、取り組むにあたっての心構えが必要です。クリンピーに心構えを教えてくださいましょう。



もったいないの感覚を

まず手始めに、何でもかんでも「もったいない」と思ってみましょう。ごみとはいえども、もとは皆さんのお金で購入したものです。もったいないから買わない、もったいないから無駄にしない、の気持ちからごみの減量への情熱が生まれます。

少々の不便・面倒は受けて立つ

ごみは私たちの便利で豊かな生活の残骸です。そのごみを減らすのですから、少々の不便さは覚悟しなくてはなりません。みんなの小さな不便、小さな手間が、大きな力となってごみを減らすのです。

「やらないよりはまし」を格言に

何も完璧なエコロジストを目指しているわけではありません。無理なくできることを、1つずつ始めるつもりで、気を楽にしてのぞみましょう。

■実践してみましよう ～家庭でできる3R～

ごみを減らすための3つのRから始まるキーワード。

リデュース リユース リサイクル
Reduce (減らす) ・ Reuse (再使用) ・ Recycle (再生利用)。この3つを実行することで、ごみ問題の解決、そして循環型社会への扉が開かれます。

1. Reduce (リデュース)

2. Reuse (リユース)


●ショッピングにはマイバッグを持参 「簡易包装で」のひと言も

毎日の買い物には、マイバッグを持参する習慣を。また、必要以上に大きな包装やクッション材は、ごみのもとです。はっきり断りましょう。




●必要なときに必要な量を

たくさん買い過ぎて結局くさらせてしまう、作り過ぎて食べきれず捨ててしまう、食べ残す・・・
こんなことの繰り返しは、生ごみを増加させるきっかけになっています。無駄のない食生活を心がけましょう。



●物を大切に使う

まだ使えるのに捨ててしまうのは「もったいない」です。最後まで大切に使い、もし壊れてしまったら修理して使いましょう。



●繰り返し使えるものや、詰め替え商品を選ぶ

牛乳瓶・酒瓶・ビール瓶などの「リターナブル瓶」を使いましょう。また、出るごみが少なくてすむように、詰め替え商品を選びましょう。




●不要品を有効活用しよう

不要になっても、まだ使えるものは、知人などと交換しあったり、「リサイクルショップ」や「フリーマーケット」を活用して、必要な人に譲りましょう。



●生ごみは自己処理を

生ごみは、「生ごみ処理機」や「生ごみ自家処理容器」を使ってできるだけ自己処理しましょう。
できたい肥は、家庭菜園や花壇などの肥料に使うことができます。また、生ごみの水分を切ると減量できますし、においも抑えられます。



●リサイクルシステムの活用

ごみをリサイクルするには、正しい分別が欠かせません。分別方法をきちんと守りましょう。
また、使用済み天ぷら油は、スーパーなどの回収BOXを、古紙類の資源回収を利用するなど、積極的に活用しましょう。



●エコ商品の購入

リサイクルを進めるためにも、リサイクル製品を積極的に使いましょう。



3. Recycle (リサイクル)

■ごみの量の目安 ～これでこんなに減ります～

毎日の生活の中でさまざまなごみが出ます。ここでは、簡単に減らせるごみとその量を紹介します。3Rの中でも一番大切なキーワードがREDUCE (減らす) です。

いわき市のごみ減量化の目標 (1人1日当たり950g) を達成するためには、130g以上も減らさなければなりません。それにはREDUCEがとても重要な要素となっています。

■レジ袋 約1枚



約10g

■生ごみ100gに
含まれる水分



約80g

■使い捨て食器
はしとコップと皿3人分



約75g

■カップめんの容器
約3食



約50g

■ 家庭における生ごみの減量化 ～家庭用生ごみ処理機等の購入補助制度～

家庭から出るごみを少しでも減らすため、また、リサイクル推進を図るため、家庭用生ごみ処理機や生ごみ自家処理容器（コンポスト容器・密閉型容器）を使って、生ごみをたい肥化しましょう。たい肥化された土は、家庭菜園や趣味の園芸用として使うことができます。市では、購入を希望する方に補助金を交付する制度を実施しています。是非、この制度を活用して、ごみの減量にご協力ください。

● 生ごみを処理すると・・・



	家庭用生ごみ処理機	生ごみ自家処理容器	
		コンポスト容器	密閉型容器
補助率	購入価格（消費税込み）の2分の1		
補助限度額	15,000円	3,000円	3,000円
世帯当たり補助基数	1基	1基	2基
対象物（イメージ）			
特長	生ごみを微生物と混ぜて攪拌し、発酵・分解させる「バイオ式」と、乾燥させて量を減らす「乾燥式」があります。どちらも電動です。	ふた付きの筒状の容器を土のあるところに設置。土中の微生物の働きで生ごみを発酵・分解させたい肥化させます。	密閉容器に生ごみを入れ、発酵資材をふりかけて発酵させます。できたものを熟成させ、土に埋めたい肥化させます。

※補助に関しては、**環境整備課（☎22-7529）**までお問合せください。

■ 市で行っている様々な取り組み

循環型都市いわきを目指して市が行っている、様々な取り組みの一部を紹介します。

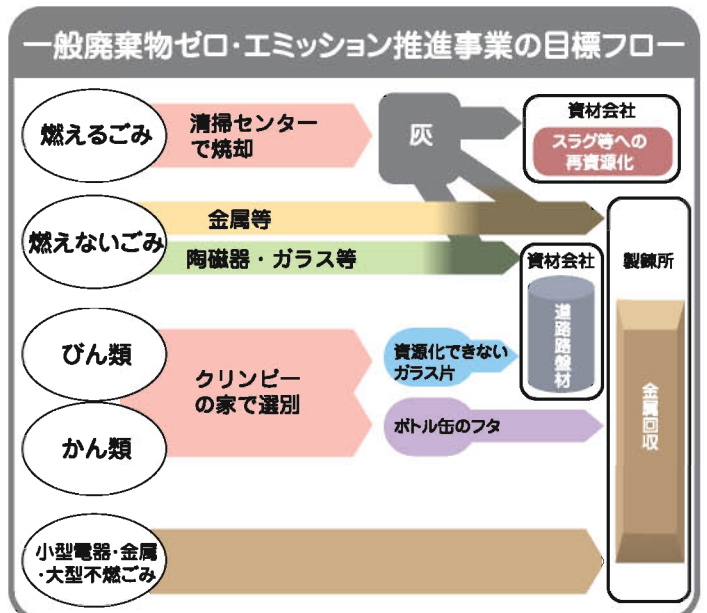
■ ごみの減量化目標

いわき市では、循環型社会に向けた取り組みとして、1人が1日に出すごみの量を平成22年度までに**950gに減らす**ことを目標として、市民の皆さんに協力を呼びかけています。

■ 一般廃棄物ゼロ・エミッション推進

いわき市には、2箇所の埋立処分地があり、毎年2万トン以上のごみを埋め立てていますが、このまま埋め続けると、1箇所はあと10数年で満杯になってしまいます。

そこで市は、埋め立てているごみをできるだけリサイクルすることで埋め立てる量を減らし、今ある処分地を出来るだけ長く使うため、「一般廃棄物ゼロ・エミッション推進事業」という取り組みを平成19年度から計画的に進めています。



■環境教育の充実

環境に関して、街頭やごみ処理施設での啓発活動のほか、学校での出前講座を実施しています。



●街頭での啓発活動



●学校での出前講座



●ごみ処理施設での啓発イベント

■リサイクルプラザクリンピーの家

クリンピーの家では、「ペットボトル」「かん」「びん」などの資源ごみを再資源化工場で利用しやすいように、選別・梱包などを行うごみ処理施設としての機能のほか、リサイクル教室などの体験学習や自転車・家具の修理再生品の提供といった啓発活動、ごみの減量化・リサイクルに関する情報の提供を行うための啓発拠点施設としての機能もあります。

開館日は、一般に開放されていますので、資源ごみの選別作業を見学することもできます。



●資源ごみの選別作業



●施設見学の様子



●クリンピーの家全景



●自転車・家具の修理再生品の展示

リサイクルプラザ クリンピーの家

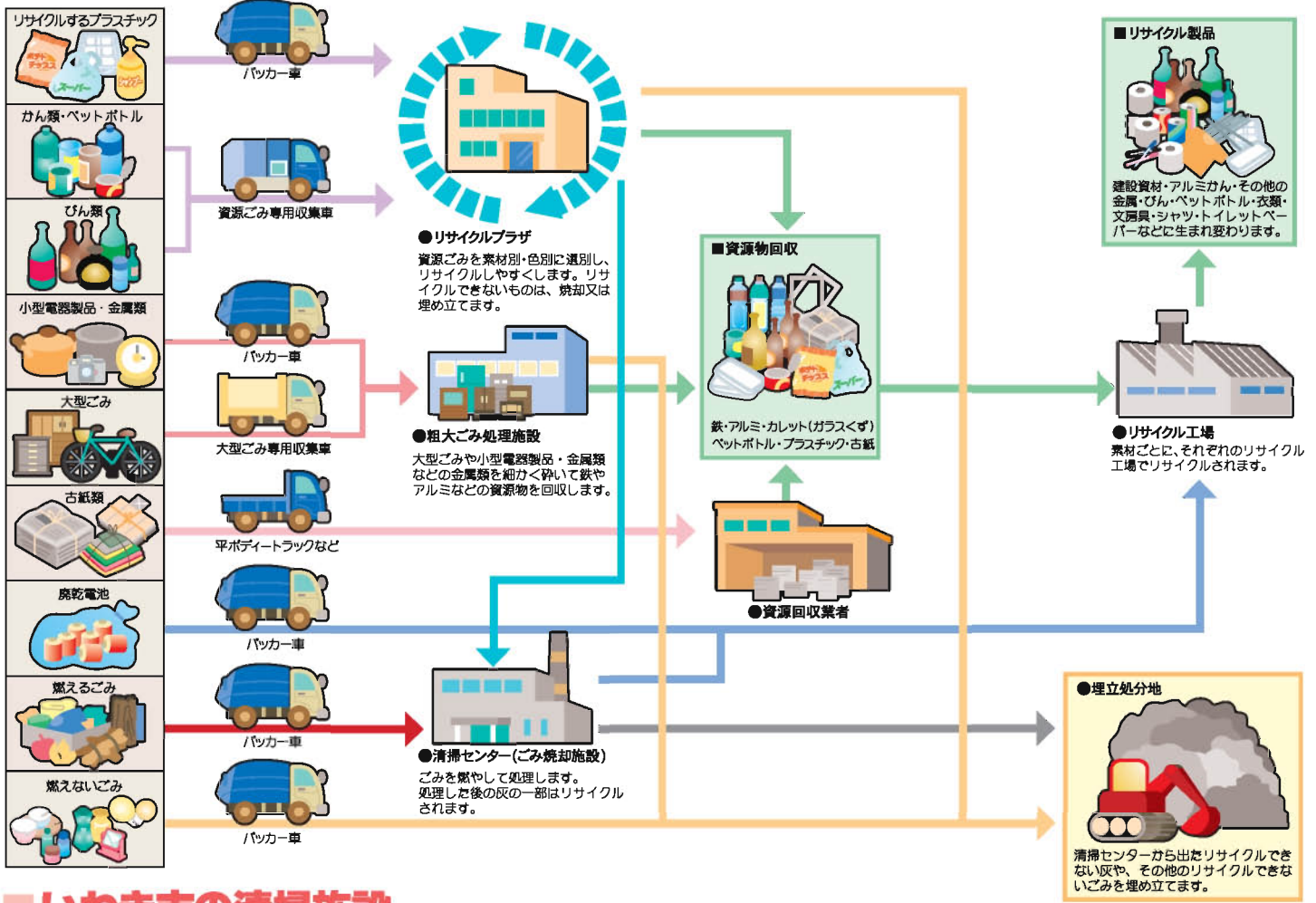
渡辺町中釜戸字大石沢24-1

施設利用時間 午前9時から午後5時まで

休 所 日 毎週月曜日

電 話 番 号 56-3651

いわき市のごみ処理の流れ



いわき市の清掃施設

■焼却施設

●北部清掃センター
(平上片寄字大平23 TEL.34-2301)

●南部清掃センター
(泉町下川字境ノ町63 TEL.56-7963)

■粗大ごみ処理施設

●山田粗大ごみ処理施設
(山田町家ノ前31 TEL.63-6216)

■リサイクルプラザ

●リサイクルプラザ クリンピーの家
(渡辺町中釜戸字大石沢24-1 TEL.56-3651)

■埋立処分地

●クリンピーの森
(渡辺町中釜戸字大石沢24-1 TEL.56-7512)

●クリンピーの丘
(山田町家ノ前31 TEL.63-6216)

